

# ふじキユン、建設現場で活躍

ミキサー車をラッピング



運転席の縁取りにあわせて文字を配色、様々なカラーバリエーションも

「あつ、ふじキユンだ」。市内を走行中に声をかけられたり、手を振られたりするという「ふじキユンミキサー車」を所有するのは、コンクリートの製造販売を行う市内葛蒲沢の三和石産株式会社(中田泰司社長)。同社では、大型ミキサー車6台、小型ミキサー車6台、トレーラー車1台をラッピングしている。

市観光シティプロモーション課から、「ステッカーを貼ってほしい」と依頼があったのをきっかけに、「小さくて目立たないから、やるなら楽しいことを」と同社からラッピングカーを提案。市と共に考えながら、東京五輪

のセーリングをPRするオリジナルデザインが完成し、昨夏から市内外を走行している。もちろん「自腹」だが、「市民が喜んでもらえたらうれしい」と、総務部の宮崎航さんは話す。

ふじキユンミキサー車は、どの車両も汚れがなくなきれいな状態。「ふじキユンを汚せないから?」と思いきや、1964年の創業当時、中古のミキサー車を購入し一台一台大切に修理を重ねて使い続けてきた精神を忘れないようにと、常に全車両をきれいにするのが信条だという。

同社では岩手県大船渡市にもグループ会社を持ち、そこではご当地PRキャラクターの「おおふなトン」がラッピングされたトレーラー2台を所有している。